

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270500507		
法人名	有限会社博愛会		
事業所名	グループホーム毘沙門		
所在地 (電話番号)	〒037-0096 青森県五所川原市毘沙門字上熊石113-18 (電話) 0173-37-2423		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 2月 24日	評価確定日	平成 20年 3月 31日

【情報提供票より】(平成 20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年 11月 21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,000 円	その他の経費(月額)	3,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	8 名	男性	名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	2 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低	76 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清水クリニック、かねひらクリニック、中嶋歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>毘沙門駅の線路を隔てて立地しており、周りには林があり自然あふれる場所である。1ユニット9人が居住しているアットホームな建物であり、ゆったり暮らしている状況が伺えた。 リビングを取り囲むように居室が配置されており、にぎやかな雰囲気、日中は利用者がリビングで楽しく過ごされている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>感染症対策に関するマニュアル及び骨折や緊急時の対処に関するマニュアル等が作成されていなかったが、現在作成中である。記録の整備についても助言があり少しずつ改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義についてはスタッフ間で共有しているが、評価そのものは管理者一人で実施したため、活用方法の理解が全職員に周知していない。今後は管理者が具体的に活用方法を伝え、組織の向上に役立てていくことを期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4.5.6)</p> <p>定期的に開催されており、参加者から直接、施設処遇について改善点の助言を受け速やかに対応している。また、ケアの質について家族に確認したり活発な意見交換がなされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からの苦情を真摯に受け止め、利用者の安全を守るためにさまざまな処遇改善が図られている。また、料金区分の変更についても会を開催し説明を行っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の方々と積極的に交流を図っており、夏の夕涼み会にも多数の地域の方の参加がある。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念が有り、内容も充実しているが、地域密着型サービスの役割を考慮した上で、その人が地域で暮らし続けることを支えていける内容が明示されていない。		創設時のすばらしい理念ではあるが、地域で暮らし続けることを支援をするために、それらを考慮した内容を積極的に地域にアピールし理解して頂ける様な働き掛けを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内で共有され、意識して取り組む様心掛けている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣を散歩したり、歌謡・踊り等の慰問、地域の人々や家族を招いての「夕涼み会」の開催等を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価を受け、マニュアル・記録の整備を行う等の改善に取り組んでいるが、今回の評価実施に関してはスタッフも周知していたが、運営者のみが評価を行っている。</p>		<p>評価に対する理解を深め、運営者・スタッフ全員での評価・取り組みを期待します。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>前回の評価結果・改善内容の報告がされ、家族・行政の意見等を受け止め、それに対する具体的な取り組みを報告している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>利用者のケア・福祉関係の相談を行い、アドバイスをを受けたり、ハード面(非常口へのスロープの設置等)での課題提起等の協力を得、サービスの質の向上に向け取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現段階で必要性が無いため、今後の利用者に応じた対応となっている。</p>		<p>行政の協力・各種研修への参加・資料の整備等をされ、概要を理解されることを期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアの中で個々に意識して取り組んでいるが、学習会や伝達研修の機会がなかった。</p>		<p>行政の協力・各種研修への参加・資料の整備等をされ、会議・申し送り時のケアの振り返り等の実践をされることを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	運営者が事前訪問し、家族・本人の意向の把握を行い、契約書・重要事項説明書等を用いて行っている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時・月1回の入居費の支払い時の報告や、電話での連絡を行っている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での意見の抽出や、面会時等に意見・意向の聴取を行い、サービス向上に反映させている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の意向・意見を聞き、仕事がしやすい環境作りに努めた勤務表の作成がされ、退職1ヶ月前の報告を促し、利用者への影響を最小限にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者が各種研修等に参加し内部研修が実践されているが、スタッフの研修計画は立てられていない。		スタッフの研修の充実が図られ、個々・スタッフ全体のスキルアップに努められることを期待します。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西北五グループホーム協会・地域ケア会議等への参加で交流が図られている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	個々に応じたケアが出来る様、家族と相談しながら行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	時間・感情の共有を行い、常に敬い・支えあう関係作りに努め、実践している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中で本人の希望や意向を尊重し実践しているが、スタッフ全員が共有できる本人の思い、意向が記録上に整理されていない。		意向を確認し記録上に整理されスタッフが共有できるよう、より充実したアセスメントを実施され、本人本位のケアプランの作成に期待します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意向を確認し、定期的なカンファレンス(3ヶ月毎)の開催は全スタッフ参加で行われ、情報を出し合い作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化があった際は、その都度状態に応じ、ケアプランを見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出援助・スタッフの就労歴を活かしたケアが実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の意向を反映し、個々のかかりつけ医との情報交換を行い、最低1ヶ月に1回の受診にて健康管理に努めている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と話し合い家族の意向が基本になるが、ターミナルケアの提供に関する体制(夜間の往診の確保等)は整備されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない排泄介助の声掛けや、個人情報の管理がされている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	屋内・外に関わらず、個々の意見を尊重した支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好の把握がされ、食事の後片付け等の依頼等が自然とされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的に週2回の入浴であるが、必要に応じシャワー浴の提供が行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>無理強いする事無く、出来る事を行える様、提供している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>季節的な事もあるが、週2回は短時間でも外出出来る様支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない介護を実践している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーが設置されており、居室には鍵はかけられていない。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	大規模な訓練を年2回、小規模な訓練は週1回位のペースで実践し、近隣住民・町内会・消防署の協力も得られている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は1500ccを目安に確保されているが、食事に関しては全体的に多い印象を受け、献立表は、食事後に作成されている。		利用者の体重測定・おおよそのカロリー計算(短期間)を実施され、健康管理に努められることを期待します。また時には事前に献立を作成し、利用者と共に食を楽しむことも必要と思われれます。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いうがいの励行、インフルエンザの予防接種・マニュアルの作成がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井が高く自然な光が居心地良い空間を作っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>整理されている環境ではあるが、馴染みのものが少ないためか画一的な居室空間である。</p>		<p>継続的なアセスメントを実施され、入所後に関しても、利用者に必要と思われる馴染みのものに関しては持ち込みの検討をされ、より安定された生活が継続されることを期待します。</p>

 は、重点項目。